

### 第3回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成29年6月28日（水）午後1時から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階302会議室
- 3 出席委員 山口会長、中村副会長、西村委員、田中委員、山本委員、神田委員
- 4 欠席委員 川上委員
- 5 事務局 安井財政部長、秋元財政部次長兼財政調整課長、福吉課長補佐、加茂副主査、星野主事、加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
  - (1) ヒアリング対象補助金等について
  - (2) その他
- 8 配付資料
  - (1) ヒアリング希望集計表
  - (2) 補助金等審査の判断基準
  - (3) 補助金等審議会委員名簿

開 議 13時00分

（山口会長）

ただいまから、第3回流山市補助金等審議会を開催いたします。本日の会議は、出席6名、欠席1名ですので、会議は成立していることをご報告いたします。

また、流山市では、審議会等の会議は原則公開とすることとなっておりますことから、本審議会も公開といたしますので、あらかじめご了解願います。

それでは、はじめに、事務局から本日の配付資料の説明をお願いします。

（事務局）

本日の配付資料について説明いたします。

最初に資料1「ヒアリング希望表の集計表」については、皆様から提出いただいた、ヒアリング希望の補助金等に○印を付した

ものを取りまとめ集計した一覧表です。

合計欄にあるように3つ以上○が付いている補助金等が39件あります。

次に、資料2「補助金等審査の判断基準」については、これまで補助金等審議会において評価の基準としていたものです。

私からは以上です。

(山口会長)

それでは、今日の議題に入ります。

1点目としてヒアリング対象ですが、皆様から頂いたヒアリング希望の多かった補助金等をヒアリング対象にしていくわけですが、今回の対象についても、これまでと同じように市単独の補助金とすることについてどうか。

また、日程の関係で、全ての市単独補助金をヒアリングすることは困難で、1つの補助金のヒアリングに15分程度かかるとして、1日(2時間)あたり、大体8件程度となります。

これまでヒアリングに使える審議会の日数は5日程度でしたので、40件位を対象としてはどうかと思います。

今回、皆様から選んでいただいた、○印が3つ以上の補助金等が39件で、いずれも市単独のものでした。

次に2点目として、補助金等審査の判断基準についてはどうするか。また、評価区分や総合評価区分についてもどうするか決めたいと思います。

まず1点目についてはいかがでしょうか。

(西村委員)

国県補助金については、この審議会ではヒアリングしないと言うことになる、評価する、しないは別としても、その補助金がどんな内容でどのような効果があるのかなど、分からなくなってしまうので、子育て関係の補助や障害者関係の補助で金額の大きいものは聞いてみたいと思います。

(山口会長)

まず、ヒアリング対象とならなくても、市単独補助金等については全部について評価は行います。

また、国・県補助金については法令等に基づいて国・県・市の

補助割合を決めて出しているので市の裁量は少ないと思いますが、国・県が補助をやめた後も引き続き市が補助しているようなものもありますので、国・県補助のあるものも数件やるという方法もあります。

(中村副会長)

106番の「市制施行50周年記念第九演奏会事業」については前回の答申時では評価Bで、事業費の積算が甘いなど色々指摘があったようですが、この経過などについても気になります。

(山口会長)

この事業については、40周年の時など、これまで補助なしでやってきたのになぜ必要なのか、自助努力でできないかなどの意見があり、結果として市が要求額を減額して予算化した経緯があります。

(西村委員)

事業費の積算が曖昧との指摘もありましたので、その後の見直しをどのようにしたのか聞いてみたいと思います。

(山口会長)

それでは、この事業も含めて市単独補助を40件、それに西村委員から提案のあった国・県補助を伴う事業をいくつか含めて実施することは可能でしょうか。可能であれば事務局において数件抽出したものについて資料等を用意していただき、説明をしていただければと思います。

(事務局)

ヒアリングの時に担当課から説明することは可能です。

(安井財政部長)

子育て関係や障害者グループホームの関係など、執行部で代表的なものを選んでプラスして説明するようになりたいと思います。

(山口会長)

それでは、市単独補助を40件、これにプラスして、評価としては行わないが国・県補助有から事務局において抽出したものの数件について説明していただくということにします。

次に、2点目の判断基準については、これまでもこのような形で行っており評価区分を一部変更した以外は変えていませんが

これで良いでしょうか。

もし新しいアイデアがあればと思いますが。

(山本委員)

ヒアリングをしない補助金等について評価する場合に、事前に配付された「補助金等調査票・適正化実行プラン」だけを見て評価するのは非常に難しいと思いますが、希望する補助金について追加資料を提出いただくことは可能ですか。

(山口会長)

担当課によって実行プランの書き方にばらつきがあるので評価判断するのに難しい部分もあるかと思えます。必要であれば追加資料を提出してもらうことも可能です。

これらの資料やヒアリングを聞いたうえで、判断基準の公益性・公平性・必要性・効果・適切性を見ていただき補助金ごとに総合評価でAからDの4段階で評価いただくこととなります。

(山本委員 了解。)

それでは、評価基準につきましてはこれまでと同じとさせていただきます。

(山口会長)

最後に、(2) その他ですが、事務局お願いします。

(事務局)

皆様から選んでいただきましたヒアリング対象の補助金について、担当課と調整し日程を決めたいと思います。

次回からは、この日程表に沿って担当課を呼んでヒアリングすることになります。

次回の開催日は7月12日(水)9時30分から、場所は委員会室です。よろしくお願いします。

(山口会長)

以上をもちまして第3回補助金等審議会を終了します。

本日は、ありがとうございました。

閉 議 13時55分

流山市補助金等審議会  
会長 山口 今朝勝